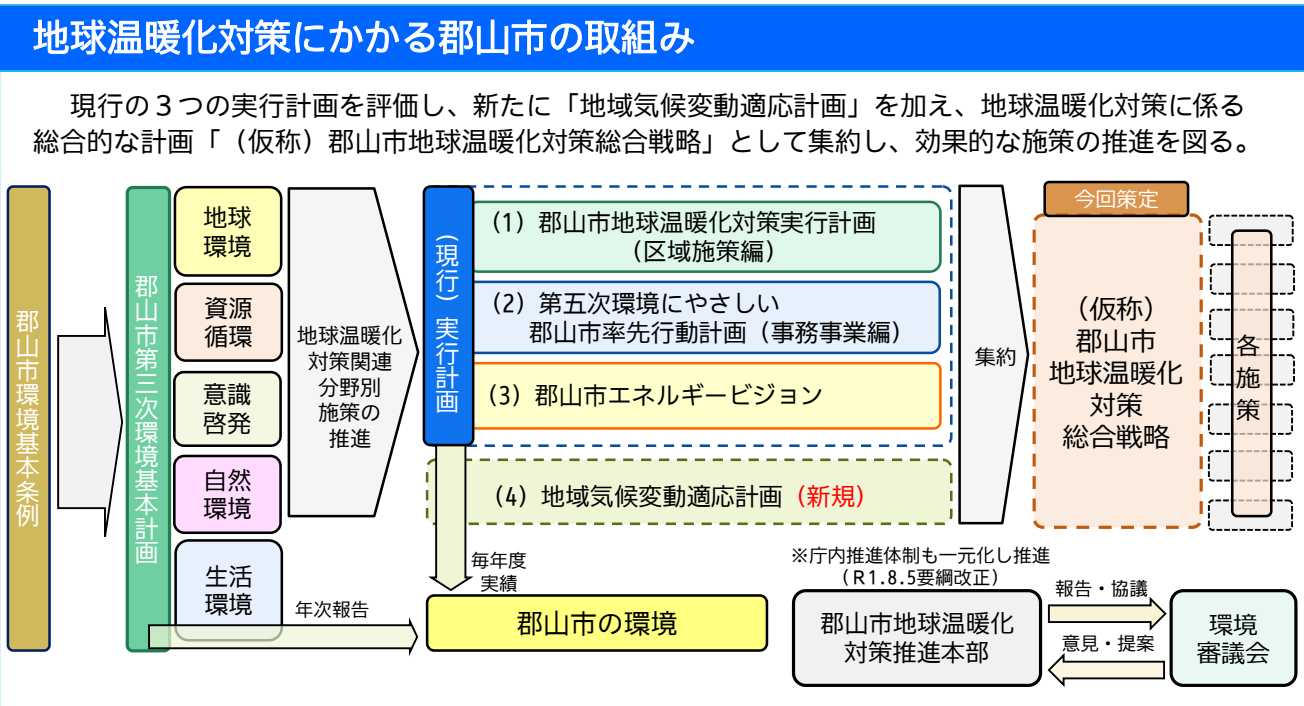




現行計画のまとめと今後の方向性

＜現行計画のまとめ＞

- 温室効果ガス排出量は近年減少傾向だが今後目標達成のため更なる削減が必要
- 再エネ導入量は目標を達成する水準だが、今後より積極的な導入促進が必要

省エネその他の排出抑制
省エネ機器等の導入や建築物の省エネ化
再生可能エネルギー等の導入促進
一層の導入促進とエネルギーの地産地消
地域環境の整備・改善
過度な車移動からの脱却、緑化の推進
循環型社会の形成
ごみ減量・リサイクルの推進
環境教育・普及啓発
環境負荷の小さい生活様式、事業活動の選択

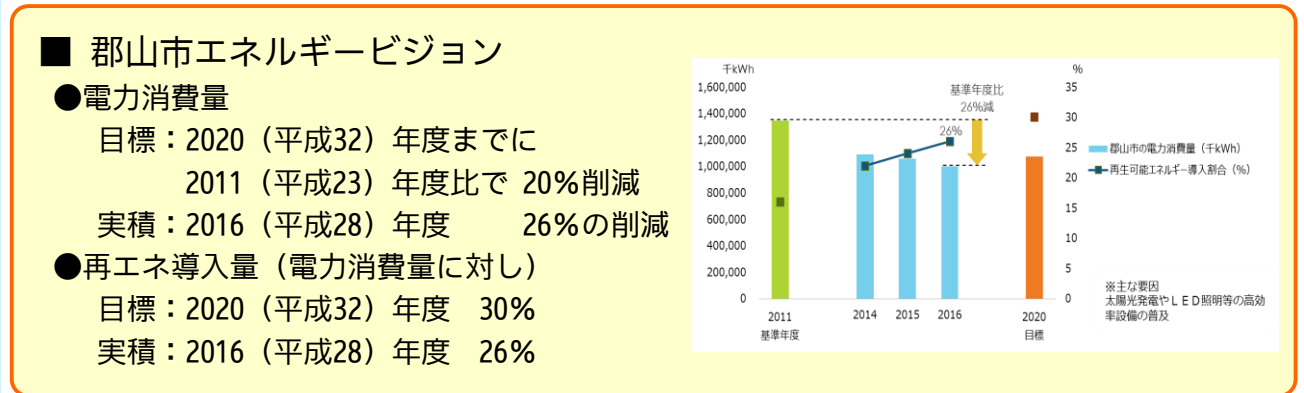
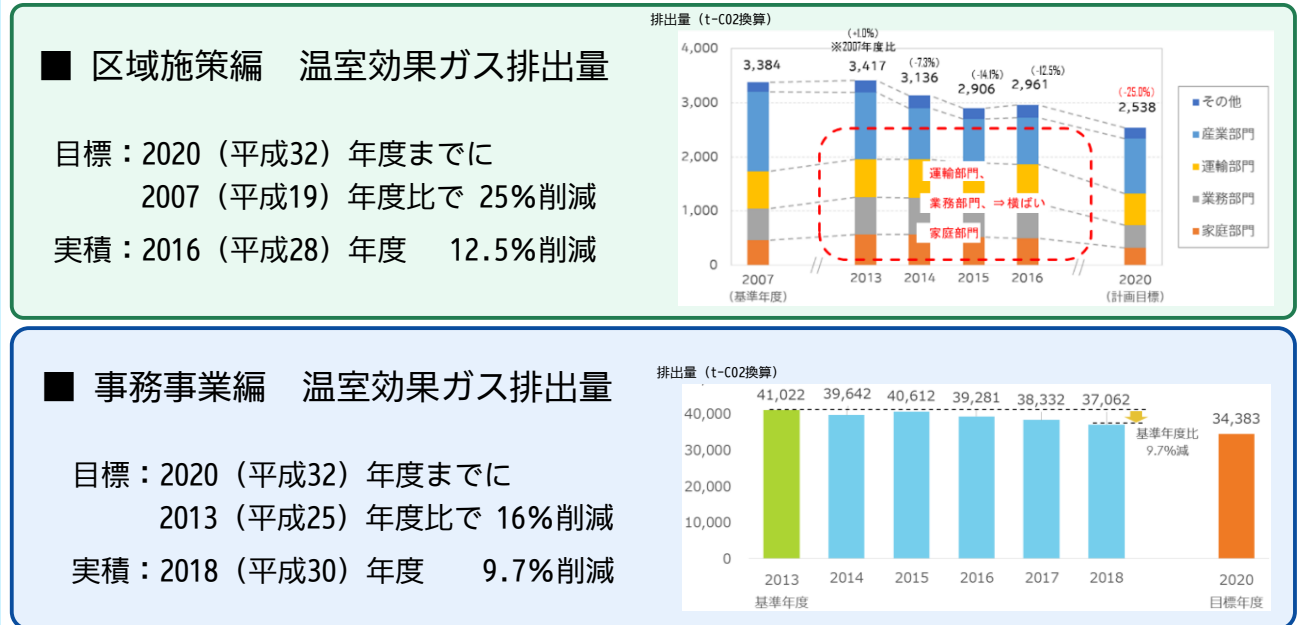
＜国内外の動向＞

- パリ協定採択による脱炭素社会実現への推進
- SDGsの達成に向けた国際的な方向性
- 気候変動への適応策の推進

＜今後の方向性＞

- 将来における脱炭素社会の構築を見据え、市民・事業者等と連携し、地域経済の発展や市民生活の向上と地球温暖化対策との両立を実現
- 地域経済の発展や市民生活の向上に係る一つの施策として、再生可能エネルギーを中心としたエネルギーの地産地消や地域資源の循環を推進
- 気候変動リスクに対応する安全安心な街づくりの推進

（現行）実行計画の温室効果ガス排出量・電力消費量・再エネ導入量実績



総合戦略の骨子 ～将来像と施策体系～

＜将来像＞

Carbon Neutral City Koriyama

- パリ協定以降の国内外の動向、「脱炭素」、「SDGs未来都市」を踏え、郡山市の将来像として「脱炭素社会の実現とSDGsの達成」を強調。
- 地球温暖化対策と経済・社会の活性化の「地域経済の牽引」、気候変動影響に対応するレジリエントな「ゆるぎない強靱な都市」を掲げる。
- 世界規模で取り組むべき「脱炭素社会の実現」に向け、炭素実質ゼロの国際的な共通認識の単語である「Carbon Neutral」を用い表現。

＜施策体系＞

リゾーム型施策体系

各施策体系の施策は、一つの施策から一方向に展開する「ツリー型」ではなく「リゾーム型」として有機的に関連し合い、相乗効果を発現することで効果的・効率的な将来像の実現を目指す。

郡山市の環境における将来像

Carbon Neutral City Koriyama

地域経済の牽引、脱炭素社会の実現とSDGsの達成

- イノベーションの牽引と地域経済活性化のまちづくり
- 省エネを継続的に推進する
- 再エネの活用と水素社会の実現
- 地域環境の整備・発展による循環型まちづくり
- 多様な主体の連携による脱炭素社会構築の気運が高いまちづくり

将来像実現を支える住（施策体系）

